

当協会のファックス機能を停止させないため、全会員に発信するシステムを利用して発信しております。

平成 23 年 3 月 25 日

会 員 各 位

日本慢性期医療協会災害対策本部
本部長 武久洋三
副本部長 富家隆樹
事務局長 池端幸彦

会員各位の迅速な対応により、お陰様で 3,600 箱を超える支援物資が集まり、感謝致します。物資は、第 1 便として、3 月 17 日に常陸大宮市ならびにいわき市への輸送に続き、3 月 24 日、3 月 26 日に第 2 便、第 3 便として、10 トントラックで 2 回にわたり、福島市、仙台市、石巻市の 9 病院に計約 2,000 箱の支援物資を輸送中です。

物資の輸送に同行されている看護師さん 3 名によりますと、福島寿光会病院では、原発事故の影響で避難された患者の受け入れで病院は満床以上、ガソリンの給油困難、医療物資の不足が深刻な状況。仙台市は、水道設備が復旧せず、今なお見通しが立っていないとのこと。そして、会員施設の中で最も被害が大きかったと思われる石巻市へは、主要幹線道路まで津波の被害が広がり、道全てが海砂で覆い尽くされトレジャーボートが道を防ぎ、車が何台も横転し、報道で見る映像より被害の大きさを感じたそうです。どの病院でも、支援物資を心から待ちわび、スタッフが自分達の出来る事を必死に守り、復興を切に願い働く姿に感動した、との報告を受けました。

なお、物資の流通が正常に戻りつつありますので、当協会での支援物資の受け付けは、現在届いているところまでで終了させていただきたいと思っております。今後のご支援については、義援金でのご厚情を賜りますようお願いいたします。

日本慢性期医療協会災害対策本部の活動および通知関係の情報は、ホームページに掲載させていただいておりますので、是非ご参照ください。

日本慢性期医療協会災害対策本部 <http://jamcf.jp/saigaitaisakuhonbu.html>

[義援金の振込先]

郵便振替口座 00140 - 7 - 401993
名 義 一般社団法人 日本慢性期医療協会

(お願い) 通信欄にかならず「地震義援金」とお書きください。

振込用紙は、郵便局窓口にある用紙をお使いください。

義援金をおまとめいただき、日本慢性期医療協会までお振込みくださいますようお願いいたします。

(注)本義援金は「一般の寄付金」であり、特定公益増進法人に対する寄付金には該当いたしません。